



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場取引所 東

上場会社名 日本精機株式会社

コード番号 7287

URL <http://www.nippon-seiki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 正二

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理本部経理部 (氏名) 渡辺 桂三 (TEL) 0258(24)3311  
シニアマネジャー

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	46,252	14.6	3,445	17.1	3,068	110.9	1,864	162.6
24年3月期第1四半期	40,367	△0.9	2,942	△17.5	1,454	△12.0	709	△7.2

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,120百万円(△23.6%) 24年3月期第1四半期 1,466百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	32 55	32 53
24年3月期第1四半期	12 39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	204,975	96,991	44.4
24年3月期	207,632	96,243	43.8

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 90,945百万円 24年3月期 91,015百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7 00	—	11 00	18 00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	7 00	—	7 00	14 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	175,000	△0.6	8,000	△40.8	10,000	△32.7	5,500	△25.8	96 01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 日精儀器武漢有限公司

除外 一社(社名) 一

(注) 詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)  
② 期末自己株式数  
③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	60,907,599株	24年3月期	60,907,599株
25年3月期1Q	3,622,544株	24年3月期	3,621,394株
25年3月期1Q	57,285,418株	24年3月期1Q	57,290,827株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、景気回復の勢いが鈍化し、景気の先行きは不透明な状況で推移しました。欧州債務危機問題の再燃による影響が波及し、先進・新興国ともに景気が減速しました。

日本経済は、震災復興やエコカー補助金等の政策効果により一部に持ち直しが見られたものの、長引く円高、デフレ、及び株価低迷等の懸念材料から、依然として先行き不透明な状況であります。

このような事業環境においても、当社グループは、連結企業体としてグローバルでの競争に勝ち残り、継続的に成長できる収益体質を実現すべく、品質第一に徹し、競争に負けない「もの造り総合力」（コスト・技術・物流・サービス）を強化してまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、46,252百万円（前年同期比14.6%増）、営業利益は、3,445百万円（前年同期比17.1%増）、経常利益は、3,068百万円（前年同期比110.9%増）、四半期純利益は、1,864百万円（前年同期比162.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

自動車及び汎用計器事業は、四輪車用計器、汎用計器が増加し、売上高33,887百万円（前年同期比13.3%増）、営業利益2,566百万円（前年同期比6.6%増）となりました。

民生機器事業は、アミューズメント向け基板ユニット等の増加により、売上高3,467百万円（前年同期比3.5%増）となりましたが、営業損失48百万円（前年同期は178百万円の営業利益）となりました。

ディスプレイ事業は、液晶ディスプレイ等が増加し、売上高1,088百万円（前年同期比29.4%増）、営業利益125百万円（前年同期は64百万円の営業損失）となりました。

自動車販売事業は、新車販売等が増加し、売上高5,090百万円（前年同期比36.2%増）、営業利益81百万円（前年同期は16百万円の営業損失）となりました。

その他は、ソフトウェア開発・販売が増加し、売上高2,717百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益485百万円（前年同期比115.8%増）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度に比べ2,656百万円減少し、204,975百万円となりました。これは流動資産でたな卸資産が636百万円、また有形固定資産が693百万円増加しましたが、流動資産で現金及び預金が2,247百万円、投資その他の資産で投資有価証券が2,181百万円減少したこと等によります。

負債は、前連結会計年度に比べ3,404百万円減少し、107,984百万円となりました。これは流動負債で支払手形及び買掛金が2,624百万円、未払法人税等が1,514百万円減少したこと等によります。

純資産は、利益剰余金が1,226百万円増加したこと等により前連結会計年度に比べ747百万円増加し、96,991百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月15日発表の業績予想の変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれております。主要市場における需要動向、為替相場等に不透明な面があり、実際の業績が記載の見通しと異なる場合があります。ご承知おき下さい。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第1四半期連結会計期間より、当社の特定子会社である日精儀器武漢有限公司を重要性が増したため、同社を連結子会社としました。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

当該変更が当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

なお、セグメント情報に与える影響は当該箇所に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	76,344	74,097
受取手形及び売掛金	34,730	33,619
有価証券	300	—
商品及び製品	9,486	9,480
仕掛品	3,848	4,235
原材料及び貯蔵品	12,151	12,407
その他	9,434	9,919
貸倒引当金	△120	△122
流動資産合計	146,175	143,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,993	11,058
機械装置及び運搬具（純額）	7,604	7,898
工具、器具及び備品（純額）	2,581	2,609
土地	14,202	14,256
リース資産（純額）	658	528
建設仮勘定	1,166	1,547
有形固定資産合計	37,205	37,898
無形固定資産		
のれん	511	489
その他	1,593	2,106
無形固定資産合計	2,104	2,595
投資その他の資産		
投資有価証券	21,017	18,836
その他	1,139	2,018
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	22,146	20,843
固定資産合計	61,456	61,338
資産合計	207,632	204,975

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	30,182	27,558
短期借入金	57,524	57,600
未払法人税等	3,100	1,586
賞与引当金	1,915	1,642
役員賞与引当金	—	63
製品補償損失引当金	982	954
受注損失引当金	—	1
その他	12,770	13,454
流動負債合計	106,476	102,861
固定負債		
長期借入金	2	3
退職給付引当金	2,436	2,270
役員退職慰労引当金	175	154
資産除去債務	49	21
その他	2,247	2,673
固定負債合計	4,912	5,122
負債合計	111,388	107,984
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,494	14,494
資本剰余金	6,492	6,492
利益剰余金	81,886	83,113
自己株式	△6,272	△6,273
株主資本合計	96,601	97,827
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,291	2,172
為替換算調整勘定	△8,877	△9,054
その他の包括利益累計額合計	△5,586	△6,881
新株予約権	17	22
少数株主持分	5,211	6,023
純資産合計	96,243	96,991
負債純資産合計	207,632	204,975

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	40,367	46,252
売上原価	32,206	37,357
売上総利益	8,160	8,894
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	1,038	1,140
従業員給料	1,533	1,667
貸倒引当金繰入額	—	3
賞与引当金繰入額	236	282
役員賞与引当金繰入額	47	63
製品補償損失引当金繰入額	3	3
退職給付引当金繰入額	17	13
役員退職慰労引当金繰入額	32	9
その他	2,310	2,267
販売費及び一般管理費合計	5,217	5,449
営業利益	2,942	3,445
営業外収益		
受取利息	200	249
受取配当金	56	56
その他	107	132
営業外収益合計	364	438
営業外費用		
支払利息	68	72
為替差損	1,774	728
その他	8	14
営業外費用合計	1,852	815
経常利益	1,454	3,068
特別利益		
固定資産売却益	3	8
特別利益合計	3	8
特別損失		
固定資産売却損	1	7
固定資産除却損	3	12
投資有価証券評価損	39	39
特別損失合計	44	59
税金等調整前四半期純利益	1,413	3,017
法人税、住民税及び事業税	678	1,300
法人税等調整額	△226	△317
法人税等合計	452	983
少数株主損益調整前四半期純利益	961	2,034
少数株主利益	251	169
四半期純利益	709	1,864

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	961	2,034
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62	△1,119
為替換算調整勘定	568	204
その他の包括利益合計	505	△914
四半期包括利益	1,466	1,120
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,112	568
少数株主に係る四半期包括利益	353	551

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車及 び汎用計 器事業	民生機器 事業	ディスプ レイ事業	自動車販 売事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	29,910	3,350	841	3,737	37,840	2,526	40,367	—	40,367
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	20	8	29	2,313	2,342	△2,342	—
計	29,910	3,350	861	3,746	37,869	4,840	42,709	△2,342	40,367
セグメント利益又は損失 (△)	2,407	178	△64	△16	2,505	225	2,730	212	2,942

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算、樹脂材料の加工・販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額212百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	自動車及 び汎用計 器事業	民生機器 事業	ディスプ レイ事業	自動車販 売事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	33,887	3,467	1,088	5,090	43,534	2,717	46,252	—	46,252
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	36	17	53	3,264	3,317	△3,317	—
計	33,887	3,467	1,124	5,107	43,588	5,982	49,570	△3,317	46,252
セグメント利益又は損失 (△)	2,566	△48	125	81	2,725	485	3,211	233	3,445

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算、樹脂材料の加工・販売等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額233百万円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(1) 会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

なお、この変更によるセグメント情報に与える影響は軽微であります。

(2) 前連結会計年度から、従来「その他」に含めておりました「自動車販売事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

比較情報は当該変更後の区分に基づき組替えているため、前連結会計年度の対応する四半期連結累計期間における報告セグメントと当四半期連結累計期間における報告セグメントとの間に相違がみられます。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。